

院内がん登録統計 ステージ別 生存率 (2005～2010年)

○登録対象

- ・ 2005年1月1日～2010年12月31日の間に当院で診断された「がん」を対象としています。

院内がん登録について

○院内がん登録とは

- ・「がん(悪性腫瘍)」の診断・治療・予後に関する情報を収集・整理・蓄積し、集計・解析をすることです。

登録により収集された情報は、以下の目的に使用されます。

- ・診療支援、研修のための資料
- ・がんに関する統計資料
- ・予後調査、生存率の計測

このほかにも、島根県地域がん登録や国立がん研究センターへ情報の提供義務があります。

個人情報は、国で定められた「個人情報の保護に関する法律」及び「島根県立中央病院個人情報保護管理規程」を遵守し、最大限の注意を払って情報を取扱っています。

○登録対象

- ・当院で診断された、または治療された「がん」が対象です

当院で「がん」と判明した場合や、他施設から「がん」の治療のために紹介された場合に登録を行います。

※診断された時点で登録を行うため、治療実績・手術件数などは件数が異なります。

- 例) AさんはX医院で胃がんと診断され、治療のため当院に来院された。
→「胃がん」を登録します。

- ・1腫瘍1登録です。

1人が複数の部位に「がん」を患った場合、その部位ごとに登録を行います。

- 例) Bさんは胃がんと肺がんがあると診断をされた。
→「胃がん」「肺がん」の2例を登録します。

- ・「原発巣」かつ「初発」の全ての「がん」を登録します。

部位別にみたときに、その「がん」が「原発巣」で「初発」の場合、登録を行います。

- 例1) Cさんは胃がんと診断され、同時に肺がんに移転していることがわかった。
→ 胃がんは「原発巣」であるため登録しますが、
肺がんは「転移巣」であるため登録しません。

- 例2) Dさんは2005年に胃がんの治療を行い完治したが、
2006年に再び胃がんと診断された(再発した)。
→ 2005年の胃がんは「初発」のため登録しますが、
2006年の胃がんは「再発」のため登録しません。

※「原発巣・転移巣」「初発・再発」については次項「使用されている用語について」をご参照ください。

- ・脳は良性であっても登録します。

脳は良性であっても、悪性と同様の治療を行うことがあるため、登録します。

※「悪性・良性」については次項「使用されている用語について」をご参照ください。

○登録期間

- ・該当期間内に診断された「がん」が対象となります。

例1) Eさんが2005年に胃がんと診断、2006年に肺がんと診断された場合。

→ 胃がんは「2005年」に登録、肺がんは「2006年」に登録します。

例2) Fさんは2005年から胃がんの疑いがあり、定期的に検査していたが、2006年に胃がんと診断がされた。

→ 胃がんを「2006年」に登録します。

○登録項目および定義

- ・登録項目および定義は国立がん研究センターにより定められています。

・2006年以前は「地域がん診療拠点病院 院内がん登録 登録標準項目とその定義 2003年度版」に基づき登録を行っています。

・2006年以降は「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録項目とその定義 2006年度版 修正版」に基づき登録を行っています。

・部位及び組織コードについてはICD-O-3 (International Classification of Diseases for Oncology, Third Edition)により分類されています。

※詳細をご確認になりたい場合、国立がん研究センターのホームページ等をご確認ください。

院内がん登録で使用される用語について

○原発巣・転移巣

・「**原発巣**」は最初に発生した「がん」、

「**転移巣**」は原発巣から拡がったり移動したりした「がん」のことです。

例) 最初に胃がんと診断され、そのがん細胞が血液などによって肺に運ばれ、さらに肺がんと診断された。

→ 胃がんは「**原発巣**」、肺がんは「**転移巣**」になります。

○初発・再発

・「**初発**」は最初に「がん」が発生したときのこと、

「**再発**」は治療された「がん」が再び現れることです。

例) 胃がんの化学療法を行い「がん」が縮小したため治療を終了したが、数年後再び大きくなった。

→ 最初の胃がんは「**初発**」、数年後の胃がんは「**再発**」になります。

※原発巣・転移巣は「どこにできたか(場所)」で決められます。

※初発・再発は「いつできたか(時期)」で決められます。

○悪性腫瘍・良性腫瘍

・臓器や生命に重大な影響を与えるものが「**悪性腫瘍**」、

影響を及ぼすことのないものが「**良性腫瘍**」です。

悪性腫瘍は、周りに広がったり、別の臓器へ移ったりします。

良性腫瘍は、別の臓器へ移ることはありません。

○治療前ステージ

・「がん」の大きさや、別の臓器への広がり方で「がん」がどの程度進んでいるかを判定するものです。

「がん」の場所によって異なりますが、一般的には「0期」「Ⅰ期」「Ⅱ期」「Ⅲ期」「Ⅳ期」で表されます。

治療法を選ぶときや、生存率を表す時に使われます。

○来院経路

・「がん」と診断されたときに、その受診をする「きっかけ」となったものです。

例) 自主;「血便がでた」「痰に血が混ざってた」など、体調の変化に気づき、
当院を受診された。

紹介(他院より);他の病院から紹介状を持って当院を受診された。

紹介(がん検診);がん検診で「要精査」といわれ、詳しい検査を受けるために
当院を受診された。

紹介(健康診断);職場の健康診断で「要精査」といわれ、詳しい検査を受ける
ために当院を受診された。

紹介(人間ドック);人間ドックで「要精査」といわれ、詳しい検査を受けるために
当院を受診された。

自施設にて他疾患の経過観察中;別の病気で当院を受診したときに、
偶然「がん」を発見した。

剖検;ご逝去後の解剖により、「がん」が見つかった。

○発見経緯

・がん発見の「きっかけ」となったものです。

例) がん検診;がん検診を受けた。

健康診断・人間ドック;職場の健康診断または人間ドックを受けた。

他疾患で経過観察中;別の病気で受診中に偶然「がん」を発見した。

剖検;ご逝去後の解剖により、「がん」が見つかった。

○生存率

・「がん」と診断された方が、ある時点で生存されている確率のことです。

例) 2005年に「がん」と診断された10人のうち、
2006年に8人が生存していたら、「1年生存率は80%」
2007年に5人が生存していたら、「2年生存率は50%」となります。

○予後判明率

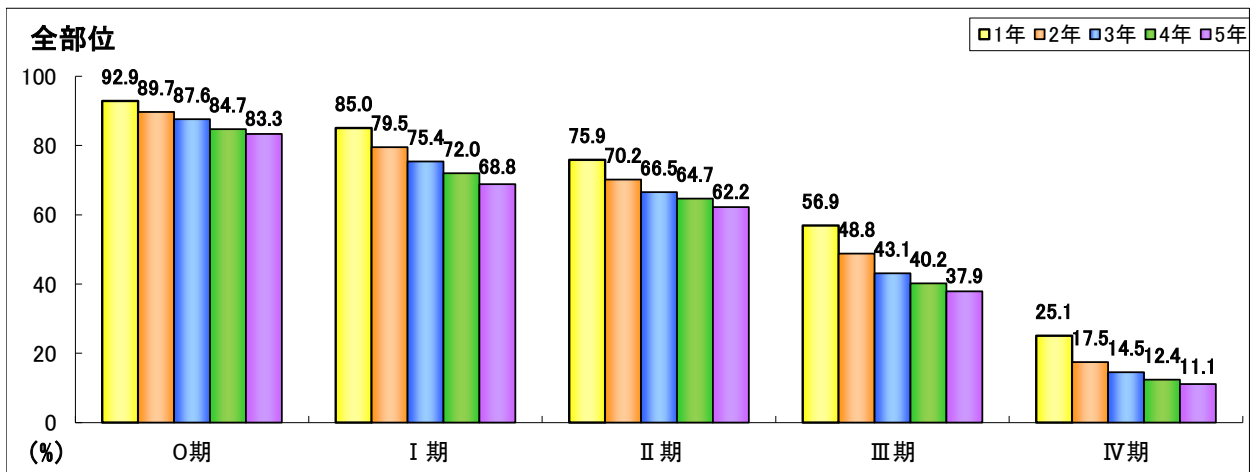
・「がん」と診断された方の、ある時点で消息が把握された割合のことです。

例) 2005年に「がん」と診断された10人のうち、
2010年に、「7人が生存」「2人が死亡」「1人が消息不明」の場合、
9人の予後が判明しているため、「予後判明率は90%」になります。

部位名称	治療前ステージ		予後 判明率	生存率					死亡年 不詳
	ステージ	件数		1年	2年	3年	4年	5年	
全部位	0期	1,068	94.4%	92.9%	89.7%	87.6%	84.7%	83.3%	0.0%
	I期	2,157	95.5%	85.0%	79.5%	75.4%	72.0%	68.8%	0.1%
	II期	1,064	95.8%	75.9%	70.2%	66.5%	64.7%	62.2%	0.3%
	III期	854	96.7%	56.9%	48.8%	43.1%	40.2%	37.9%	0.2%
	IV期	1,054	97.2%	25.1%	17.5%	14.5%	12.4%	11.1%	0.4%
	対象外	480	95.8%	66.1%	62.0%	58.5%	55.0%	52.8%	0.4%
	不明	592	95.6%	68.7%	64.8%	61.8%	58.7%	57.2%	0.0%

主要5部位(再掲)

部位名称	治療前ステージ		予後 判明率	生存率					死亡年 不詳
	ステージ	件数		1年	2年	3年	4年	5年	
胃	I期	680	94.6%	85.5%	80.7%	78.1%	75.4%	73.6%	0.1%
	II期	106	97.2%	63.1%	53.4%	48.5%	46.6%	43.7%	0.0%
	III期	88	98.9%	43.7%	36.8%	27.6%	26.4%	26.4%	0.0%
	IV期	198	98.5%	13.3%	7.7%	5.6%	5.1%	4.6%	0.0%
	対象外	9	100.0%	88.9%	88.9%	88.9%	77.8%	77.8%	0.0%
	不明	40	82.5%	48.5%	42.4%	39.4%	33.3%	33.3%	0.0%
大腸	0期	775	95.6%	91.1%	87.2%	84.9%	81.2%	79.6%	0.0%
	I期	267	97.4%	90.8%	87.7%	84.2%	80.8%	77.3%	0.0%
	II期	137	93.4%	79.7%	74.2%	73.4%	69.5%	68.0%	0.0%
	III期	181	96.1%	82.2%	73.6%	66.7%	63.8%	62.1%	0.0%
	IV期	163	95.7%	33.3%	20.5%	12.2%	7.7%	5.8%	0.6%
	対象外	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	不明	96	95.8%	54.3%	52.2%	47.8%	42.4%	40.2%	0.0%
肝	I期	146	97.9%	79.7%	68.5%	58.7%	51.0%	41.3%	0.0%
	II期	69	95.7%	65.2%	53.0%	42.4%	40.9%	39.4%	1.4%
	III期	76	98.7%	24.0%	16.0%	10.7%	8.0%	5.3%	0.0%
	IV期	61	95.1%	10.3%	3.4%	1.7%	1.7%	1.7%	1.6%
	対象外	2	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不明	20	90.0%	27.8%	16.7%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%
肺	I期	227	94.3%	76.6%	65.0%	60.3%	53.7%	49.5%	0.0%
	II期	36	97.2%	45.7%	34.3%	31.4%	22.9%	17.1%	0.0%
	III期	126	94.4%	26.9%	14.3%	11.8%	7.6%	6.7%	0.0%
	IV期	146	98.6%	13.2%	7.6%	5.6%	2.8%	1.4%	0.0%
	対象外	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	不明	28	96.4%	18.5%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%
乳房	0期	51	100.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	0.0%
	I期	218	97.2%	94.8%	94.8%	92.5%	90.1%	89.2%	0.0%
	II期	201	98.0%	98.5%	97.5%	93.9%	92.9%	87.8%	0.5%
	III期	30	100.0%	96.7%	96.7%	93.3%	90.0%	90.0%	0.0%
	IV期	30	95.7%	59.1%	45.5%	36.4%	36.4%	31.8%	0.0%
	不明	23	98.6%	93.0%	91.5%	90.1%	88.0%	87.3%	4.3%



主要5部位(再掲)

